

ティーンズだより

みどりの翼



◆ とびっく ◆

新刊・この本読んで！

Read me !

「特集★みゅ〜じっく」

気になる、この本！

特集+α(ぶらすあるふぁ)

お知らせ

Vol. 23



特集 みゅ〜じっく

発行：田原市図書館

発行日：平成 20 年 7 月 12 日

〒441-3421 田原市田原町汐見 5 番地 TEL 0531-23-4946 FAX 0531-23-4646

<http://www.city.tahara.aichi.jp/section/library>

特集+α (ぶらすあるふぁ)

特集「みゅ〜じっく」いかがでしたか？図書館では本のほかにたくさんのCDも所蔵しています。これをきっかけにたまにはいつも聞いている音楽と違うジャンルのものを聞いてみませんか？それでは今回も、図書館にあるDVDなどをあわせて紹介します！

☆「みゅ〜じっく」なDVD

『ミュージック・オブ・ハート』 C42/ミ

実話をもとにした熱心な音楽教師と子どもたちの交流を描く感動の作品。

『スクール・オブ・ロック』 C42/ス

名門小学校にやってきたロック馬鹿なニセ教師と子どもたちの笑いあり涙ありの作品。

『青春デンデケデケデケ』 C41/セ

1960年代、ラジオから流れたギターをきっかけにロックに打ち込バンドを組んだ高校生たちの青春映画です。

もうすぐみなさんが待ちに待った夏休みですね。夏はプールや花火、旅行など楽しいことがいっぱい♪でも遊びの計画もいいけど、宿題のこと忘れていませんか？ティーンズコーナーでは今年も夏休みのあいだ読書感想文におすすめの本や自由研究の手助けになる本を展示しています。夏休みの宿題に困ったときはぜひ図書館にどうぞ☆

『本探しのお助けペーパー』

も配布中！！



～ お知らせ ～

◎キャリアデザイン講座◎

図書館では今年度からキャリアデザイン講座が始まりました。キャリアデザインとは「自分の未来の仕事を設計すること」。二ヶ月おきにいろいろな方から将来の役にたつお話をしていただく予定です。興味のある人はぜひ参加してくださいね(〜♪)



映画は人気なので、棚にあってもすぐに借りられてしまいます。興味のある人は、予約をしてくださいネ！

☆新刊・この本読んで！☆

4月から6月にかけて入った新刊からおすすめの本を選びました。

あなたのお気に入りはいつかるかな？

「伴走者たち」星野恭子//著 大日本図書 369/ホ ティーンズ



伴走者とは視覚障害のあるランナーでも安全に走れるように道案内をしながら一緒に走る人のこと。レースではランナーと伴走者が一本の輪になったロープを握り合い文字通り「伴（とも）に走る」のです。この本では実際レースで走る障害をもつランナーや伴走者だけでなく、伴走者を育てる人たち、足を失くしたランナーのために走れる義足を作る義肢装具師など障害のあるランナーを支えるたくさんの「伴走者」たちが登場します。人間は一人ではなくお互い支え、支えられて生きているのだと感じられる一冊です。

「きみといつか行く楽園」アダム・ラップ//著 代田亜香子//訳 徳間書店 933/ラ ティーンズ



主人公ブラッキーは11歳。うつ病の母親と、家出を繰り返すドラッグ中毒の姉、天才と言われ小説を書いている弟の4人暮らし。ある日、母親の恋人アルの家から森をぬけて、裸で帰ってきたブラッキーに家族は困惑。学校でも親友エリックに話してから避けられるようになる。いじめがエスカレートする中、唯一向き合ってくれたのは、同じようにひとりでいるメアリー・ジェーンだった。赤いペンキをかけられた二人はそのシャツを着続ける。という抗議の行動にでる。少年の性的虐待・イジメがテーマの1冊。心と体が思い通りに動かなくなってしまったブラッキーが楽園と思える場所はあるのだろうか・・・。

「アフリカのいまを知ろう」山田肖子//編著 岩波書店 302/ヤ ティーンズ



あなたがアフリカと聞いて思い浮かべるのはどんなことだろう。サバンナにいる野生動物や大自然？貧困問題？ほとんど思い浮かばない人もいるかな。アジアやヨーロッパやと比べても、より遠くに感じている人もいるのでは？本書では、アフリカがこれまで歩んできた歴史から、社会、経済、文化さらには福祉についてアフリカを研究する人たちのインタビューが集められています。外国から経済的にも技術的にも援助を受けているアフリカ諸国ですが、その暮らしや考え方に私たちが学ぶべきところもありそうです。

図書館がオススメするすてきな本

Read me! 特集★みゅ〜じゅく

今回のテーマは「みゅ〜じゅく」です。

「音楽」というと、聴くものってイメージだけど、読む音楽もありかなあと思って、選んでみました。

雑学あり、小説ありでお届けします。物語の演奏シーンでお気に入りの曲をバックミュージックに流してみるのも面白いかも♪♪♪



「その歌声は天にあふれる」

ジャミラ・ガヴィン//著 野の水生//訳 徳間書店 2005年 933/ガ ティーンズ



領主の跡取りアレクサンダーと貧しくも快活なトマスは共に音楽の道を志し大聖堂付属学校で学んでいた。休暇をアレクサンダーの家で過ごすことになった2人は美しいメリッサに出会う。メリッサとアレクサンダーは互いに惹かれ合うが、アレクサンダーは跡取りではなく音楽家になるため家を出る。ほどなくメリッサはある秘密を抱えてしまう。一方世間では慈善家と呼ばれるオーティスは、無垢な息子ミーシャを連れ行商していたが、恐ろしい裏の顔を持っていた。そしてメリッサの秘密にもかかわることに…。

18世紀のイギリスを舞台にした悲しくも美しい物語。

「ぎぶそん」

伊藤たかみ//著 ポプラ社 2005年 913/イ 児童・BM



北中2年生の中園学（ガク）と寺岡秀麻呂（マロ）、梨里（リリィ）は3人でバンドを組んでいる。ギター名人と噂の、同じ学年の川辺かけるをバンドメンバーにさそうため、さやま団地へやってきた。酔っ払ったかけののじいちゃんの戦争話にドキッ！としたり、ガクとリリィのバンド内恋愛の行方も気になります。昭和から平成に変わるバンドブームの中、関西の中学生4人の青春物語。バラバラな4人の演奏が、最後にはひとつにまとまっていく。アンプにつながったギブソンから爆音がひびき、目と目で会話をして一つの曲を演奏する、ロックバンドの臨場感が伝わる一冊です。ロックバンドって響きは、なぜにいつの時代もカッコイイのかしら・・・？

「夢みるクラシック交響曲入門」

吉松隆//著 筑摩書房 2006年 764.31/ヨ ティーンズ



クラシックの作曲家「センセ」と好奇心旺盛な中学生の「響」と猫の「G#（ジーシャ）」（猫はしゃべらないけど）による、クラシック&交響曲の入門書。物語仕立てで、テンポの良いセンセと響とのやり取りも面白く、何より堅苦しくないところがおすすめ。

交響曲を中心に、作られた背景や込められたイメージが語られます。また、聞いた感想を登場人物が話しているので、読んでるうちに実際に聞いてみたくなります。ちなみに、紹介されている交響曲は、図書館の所蔵のCDにもありますので、気になった人はチェックしてみてくださいね。

「ラップがわかる・できる本」

MC一寸法師//編著 自由現代社 2006年 764.7/エ 一般



ラップってCDではよく聞くけれど実際に自分がラップすることってないですね。だけどこれを読めばあなたもラッパーになれる!!…かも。ラップで一番重要なことはリリック（詩）が韻を踏んでること。（例えば、マイク→ライブ、虹の彼方→日々の宝など）それができればリリックのネタは日常的な自分の思ったことでいいんです。自身もイベントを主催する著者によって書かれた基本的なリリックの作り方から、リズムの乗せ方、ステージパフォーマンスやプロモーションの仕方まで詳しく説明されているこの一冊。ラップって実は誰でも自由に楽しめるものなんですよ。

「チューバはうたう」

瀬川深//著 筑摩書房 2008年 913.6/セガ 一般



会社員 26 歳女性、の「私」の趣味は、低音を誇る大きな金管楽器“チューバ”だ。きっかけは中学の部活で、ただ背が高いという理由でチューバを吹くことになったから。しかしそこでやたら演奏の上手い先輩からチューバの楽しさを教わる。好きだからこそ今まで続けてきたが、自分のやりたい音楽ができず複雑な思いも抱えていた。オーケストラやブラスバンドに所属することに違和感があったため、ずっと独り河原で練習してきたが、ある日怪しげな男に声をかけられて、ある楽団に参加することになる。

ひとつの楽器にほれ込んだ「私」の物語。

「ガッチャ!」

ジョーダン・ソーネンブリック//著 池内恵//訳 主婦の友社 2008年 933/ソ ティーンズ



アレックスは高校のジャズバンドでギターを弾いている、ごく普通の男子高校生。ある日、両親の離婚問題でむしゃくしゃして、お酒を飲み、母親の車を無免許運転。事故をおこしてしまう。未成年の少年に下された判決は、100 時間、老人ホームの奉仕活動だった。初めは、やる気もなく、意地悪な老人ソルに接するのイヤイヤだったが、肺を悪くしているソルは、かつてルー・ソロモンと呼ばれていたジャズギターの有名ミュージシャンだった！次第に打ち解け、心をゆるしていくアレックス。同級生とチャリティーコンサートも企画して、大成功。ジャズを通じて、人間的にも一回り成長したアレックスに読後はスッキリ爽やかな気分。

「みんな自由だ。愛する人を選び実際に愛するという意味で・・・」う〜ん、名言。

「金魚島にロックは流れる①」

かしわ哲//著 講談社 2005年 913/カ ティーンズ



瀬戸内海に浮かぶ島、周防大島（別名：金魚島）に住む立花アビルとナナミ。男勝りな姉のナナミと気の弱い弟のアビルは、男女逆に生まれたほうがよかったなんて言われるくらい正対的な性格の姉弟。そんな情けないアビルだけど、ある日ナナミからプレゼントされたギターをきっかけにロックに目覚めてしまう。漁師をしながら歌を歌うナナミとギターのアビルで結成されたロックバンド「ゴルフフィッシュ」。島の公民館で初ライブをしたゴルフフィッシュがやがて日本武道館でライブをするほどのビッグバンドへ?! 真正直なナナミの歌う曲は少し気恥ずかしい、けれど魅力的です。

「クラウド・コレクター 雲をつかむような話」

クラフト・エヴィング商会//著 筑摩書房 1998年 914.6/ク 一般



クラフト・エヴィング商会三代目の私は、倉庫の整理中に先々代である祖父のトランクを発見する。中にはお酒らしき 21 の小瓶と 3 冊の手帳が入っていて、手帳はアゾットなる遠国の旅行記だった。読むうちアゾットとはどうやら祖父が作り出した世界らしい…ことがわかるが、なぜそんなものを作ったのか？果たして、アゾットとは何なのか？三代目は尊敬するゴンベン先生とともに、謎解きにかかります。

謎解きには様々なモチーフがキーワードになってきますが、音楽もその 1 つ。いろいろ仕掛けの多い本なので、不可思議なアゾットの世界とともにじっくりとお楽しみください。

「楽隊のうさぎ」

中沢けい//著 新潮社 2000年 913.6/ナ 一般

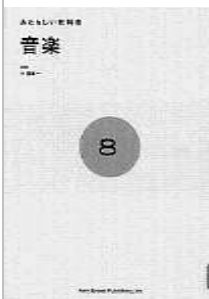


部活は絶対全員加入の花の木中学で「学校にいる時間を短くしたい」と考えていた克久が入部したのはよりもよって朝から晩まで練習漬けの吹奏楽部。小学生のころクラスメイトにイジメられていたため、中学校に入ってもなかなかクラスメイトになじめないでいた克久だったが部活動を通してだんだん吹奏楽の楽しさに気づきのめりこんでいく。

バラバラだった音のかたまりたちが一つになり曲がうたいだす演奏シーンではまるで自分もその場にいるように思わずわくわくしてしまいます。吹奏楽をやっている人たちに特にオススメな1冊です。

「あたらしい教科書⑧音楽」

小沼純一//監修 プチグラパブリッシング 2006年 760/オ 一般



20世紀という100年間の歴史で生まれた様々な音。演奏方法。楽器。スタイル。そのジャンルで特別注目された、時代を作ったミュージシャンたちがこの1冊でわかってしまう、という本です。音楽はコトバで説明できるものではない！感じるものだ！・・・とはいえ、21世紀の現在まで多大な影響力をもつ音楽の魅力をあらためて知るとは、まさに教科書な1冊です。いつもは聴かないジャンルの音楽もこの本を読めば一度きいてみようと思えますよ！But、本書で取り上げた音楽の世界地図は、ほとんどアメリカとヨーロッパに集中・・・なので世界の音楽といえども、ほんの一部ということもお忘れなく！

「気になる、この本」！

「この本読んで！」

「都市（まち）のトム&ソーヤ」はやみわかある//著 913/ハヤ K. A さん

世界一のゲームをつくるのが夢の創也と、そのせいでいつも事件にまきこまれる内人の会話が漫才のようでとてもおもしろいです。絶対にはまるのでぜひ読んでみてください。

図：現在①～⑤まで出ています。図書館でも人気のシリーズですよ

掲示板前においてある「気になる、この本！」「投稿しよう！」「用紙を知っていますか？」「友だちに紹介したい！」「とか「図書館にあったら、読んでみたいなあ～」というみんなの声を募集しています。投稿、お待ちしております！！

📖他にもこんな本あります📖

○『猫ふんじゃったはフランスではカツレツと呼ばれている』

瑞穂れい子とジェンキンス夫人の会//編著 ヤマハミュージックメディア 2004年 760.4/ミ ティーンズ

○『ほくと楽器はくぶつかん』

アンドレア・ホイヤー//絵・文 宮原峠子//訳 カワイ出版 2003年 E/ホ ティーンズ

○『スウィングガールズ』

矢口史靖//著 メディアファクトリー 2004年 913.6/ヤグ 一般

○『みんなのこえが聴こえる』

アツキヨ//著 講談社 2003年 916/アツ 一般

○『ビートキッス1・2』

風野潮//著 講談社 1998年 913/カ ティーンズ

○『もし大作曲家と友だちになれたら…』

スティーブン・イッサーリス//著 板倉克子//訳 音楽之友社 2003年 762/ノ ティーンズ

○『完全HIP HOPマニュアル』

架神恭介・辰巳一世//共著 シンコーミュージックエンターテイメント 2006年 764.7/カ 一般



★もっと調べてみたい人・ほかの本を探したい人へ★

図書館では調べものや本を探すお手伝いをしています。

カウンターなどで気軽に声をかけてね！

* 次回のテーマは「うまいハナシ」です。お楽しみに！

